

『頑張ってる?』『頑張ってね!』

貧困と格差により閉塞する日本で、
私たちは持続的に頑張れるのか。
それとももう頑張れないのか。

「頑張る」「頑張れ」は どこへいく — 努力主義の明暗 —

帝京大学 創立 60 周年 (2026 年 6 月) へ
ついに待望のシリーズ「帝京選書」創刊!

大川清丈【著】

定価984円(本体895円+税)

「頑張る」「頑張れ」は
どこへいく

努力主義の明暗

大川清丈 著

【帝京大学 創立60周年(2026年6月)へ】特別企画

大災害のたびに沸き起こる「頑張ろう」のスローガンから、日常のあいさつ代わりに使われる「頑張ってる?」「頑張ってね!」まで日本中にあふれている「頑張る」。閉塞する日本で本当に頑張れるのか。それとも頑張れないのか。AI時代に日本人のアイデンティティである「努力主義」は一体どこへ向かうのか。その明暗が浮かび上がる。

帝京新書 003

「令和時代に顕著になりつつある『頑張り』・努力主義の漂流は、格差社会における運と不運、平等と不平等、機会と結果のせめぎ合いの帰趨によって、その行き先が見えてくるのかもしれませんが」
(本文より)

「頑張る」「頑張れ」は どこへいく — 努力主義の明暗 —

帝京大学 創立 60 周年 (2026 年 6 月) へ
ついに待望のシリーズ「帝京選書」創刊!

大川清丈【著】
定価984円(本体895円+税)

